

社会教育指導員の部屋

2020.11月

生涯学習課 社会教育指導員 浅沼 芳子

絵本作家 菊池日出夫さんの図書館講座

私の家に薄～い古～い絵本が一冊あります。いつ頃からあるのか、どうやって手に入れたかの記憶も定かでない本。表紙の色合いは何となくくすみ、角も擦れてよれよれ。でも、開けば中からあふれだす圧倒的な情報量！細かく細かく描き込まれた風景と人物。耳馴染みのあるせりふ回し。

「私、小さいころ、この場面の中にいたよね…。」

心の奥をキュッと掴まれるような、鼻の奥がツンとするような心持ちになるのです。

この本こそ『はるまつり』。今年度の図書館講座でお話くださった菊池日出夫さんの絵本です。旧臼田町のはるまつりの情景が描かれています。私は旧臼田町の近くで育ち、子どものころ臼田のお祭りに歩いて行きました。鳴り響く祭囃子の高揚感。露店で売られているヒヨコがどうしても欲しくてじーっと眺めていたこと。『はるまつり』の主人公は、かめを買います。あれえ、やっぱり私、『はるまつり』のどっかにいるじゃん、、、

図書館講座の会場では、菊池日出夫さんの原画を見ることができました。何となく、絵本になった時よりも原画はもっとずっと大きいんだろうなと思っていたのですが、実はほぼ原寸大でした。びっくりしました。きっと

紙に顔を近づけて、建物ひとつひとつ、人物ひとりひとり、強い思いを込めて描いておられるのではないかな、と想像がふくらみました。会場でも、食い入るように見ている方がたくさんいらっしゃいました。



当日は絵本も販売され多くの方が買い求めておられましたが、菊池日出夫さんの絵本は、現在なかなか手に入れることができないんだそうです。となれば、ここで図書館の出番ですね！佐久市の図書館の蔵書には菊池日出夫さんの本が何種類もあり、図書館講座の後からは貸し出し中が続いているようですが、予約もできます。絵本なんて子どもものもの、なんて思わずに、どうぞ手に取ってみてください。特にご年配の方にお勧めします。心が子どもころにタイムスリップしますよ！